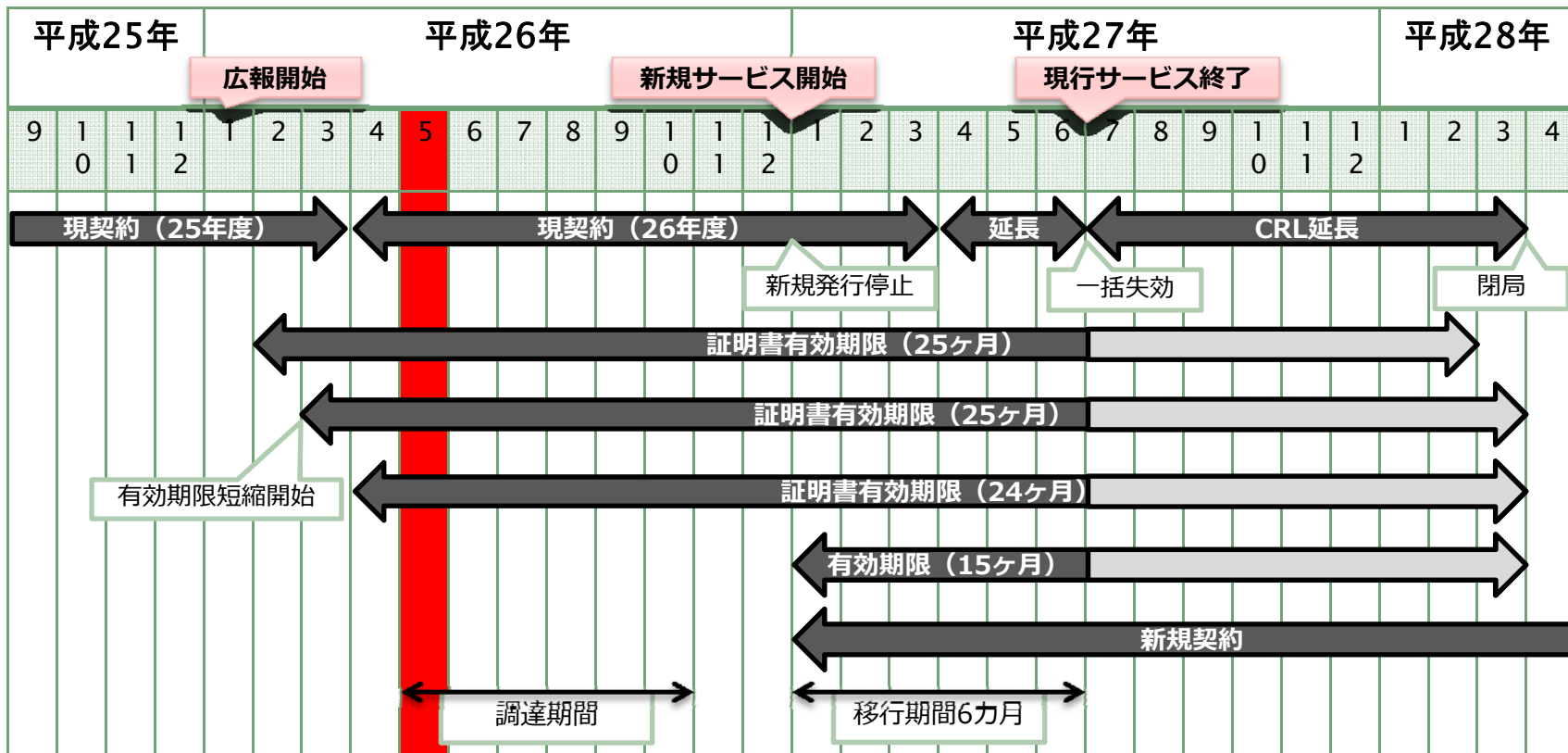


移行スケジュール



クライアント証明書
サービス開始

有料化の基本方針

- ▶ 機関の規模に応じた定額制
 - ▶ OV, クライアント, コードサイン証明書の発行枚数無制限
- ▶ OV証明書
 - ▶ 大規模大学は10万円程度
 - ▶ 小規模大学にも購入しやすい価格を検討中
 - ▶ ドメイン単位に課金（発行ドメインの制約緩和）
 - ▶ 追加ドメインの料金は小規模大学のオリジナルドメイン程度
 - ▶ 発行対象機関は従来どおり高等教育・研究機関等
- ▶ EV証明書は1枚ごとに別途課金
 - ▶ サービス開始時期については検討中
- ▶ クライアント証明書, コードサイン証明書は当面無料
 - ▶ 普及啓蒙フェーズ

クライアント証明書の活用

▶ 発行方法

- ▶ バルク（大学担当者がまとめて申請、受領）
- ▶ ユーザごと（大学担当者を経由して申請し、利用者が受領）

▶ 配布単位

- ▶ ユーザ単位 - 端末紛失等で、当該ユーザの全端末証明書再インストールが必要
- ▶ 端末単位 - 電子メールの暗号化利用に難あり
 - ▶ 個人識別子に加えて、別の識別子が必要

▶ 有効期間

- ▶ 2～3年程度

▶ 活用形態

1. アプリケーション（モバイルデバイス等）にストア
2. ICカード（Type B等）にストア
3. FCF等（FeliCa）と連携

クライアント証明書発行・配布方法（予定）

- ▶ イメージ1（P12発行+S/MIME）
 - ▶ 機関担当者から証明書プロファイルによる申請（バルク）
 - ▶ ダウンロードURLをユーザにメールで通知
 - ▶ ユーザ毎にP12形式（秘密鍵＋公開鍵、PINで保護）をダウンロード

- ▶ イメージ2（CSR発行、メールアドレスなし）
 - ▶ 機関側で秘密鍵を生成
 - ▶ CSRにて申請（バルク）
 - ▶ 機関担当者が証明書の受取（バルク）
 - ▶ 機関内で秘密鍵と証明書をユーザに配付

クライアント証明書プロフィール例

- ▶ 選択できる証明書の種類（検討中）
 - ▶ 認証用（メールアドレスあり・なし）
 - ▶ S/MIME用（メールアドレスあり）
 - ▶ コード署名用（メールアドレスなし）
 - ▶ 文書署名用（メールアドレスなし）
 - ▶ 一部組み合わせ可能
- ▶ subjectDN/subjectAltName
 - ▶ C=JP
 - ▶ L=Academe/Academe2等は指定なし(?)
 - ▶ O=大学名
 - ▶ OU=大学コード（JIPDEC ROBINSと連携?）
 - ▶ OU=学部名、プロジェクト名など
 - ▶ CN=ID/名前/学生番号/教職員番号など
 - ▶ EMAIL=メールアドレス (subjectAltName)



事業参加費（検討中）

GakuNin

構成員数	年額(税別)
1-200	¥30,000
201-400	¥40,000
401-600	¥50,000
601-800	¥60,000
801-1000	¥70,000
1001-1200	¥80,000
1201-1400	¥90,000
1401-1600	¥100,000
1601-1800	¥110,000
1801以上	¥120,000
追加ドメイン	¥20,000

- ✓ 構成員数 = 常勤の教員・研究者数 (CiNiiと同基準)
- ✓ 年額には、1ドメインのOV証明書・クライアント証明書・コード署名用証明書を含む
 - ✓ サービス開始当初は、クライアント証明書とコード署名用証明書は無償
- ✓ ドメイン追加時には、追加ドメインの額をプラス
- ✓ 各証明書の発行枚数に上限なし
- ✓ 数年後に改訂の可能性あり